

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

栃木県 益子町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	9.60	90.22	2,808

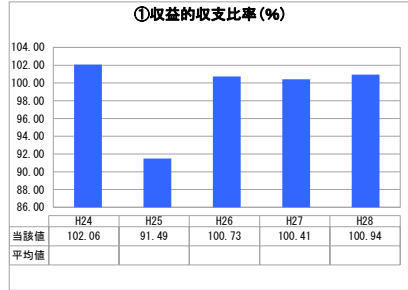
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
23,779	89.40	265.98
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,271	1.00	2,271.00

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



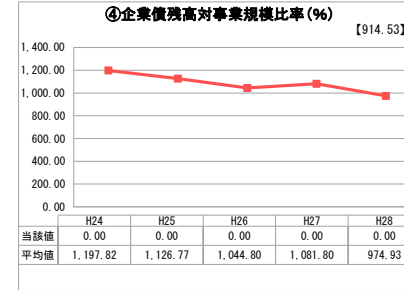
「単年度の収支」



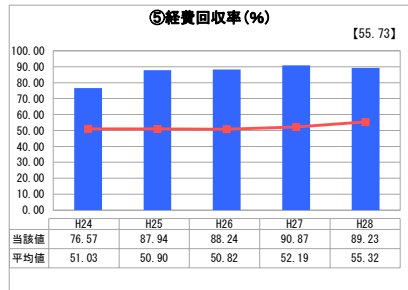
「累積欠損」



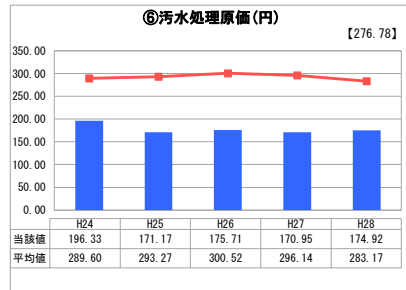
「支払能力」



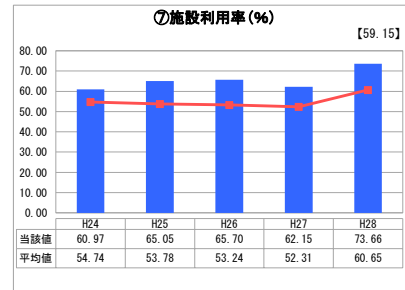
「債務残高」



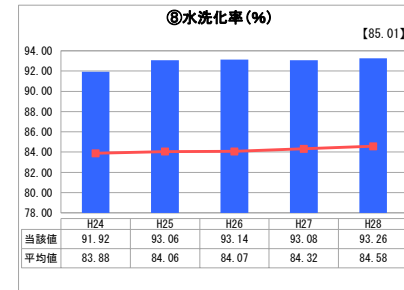
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

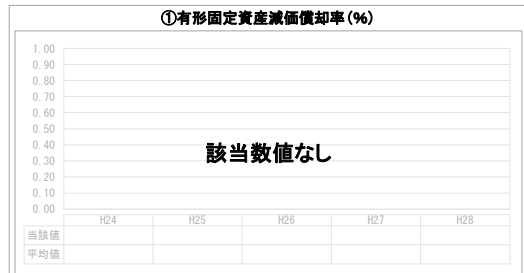


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

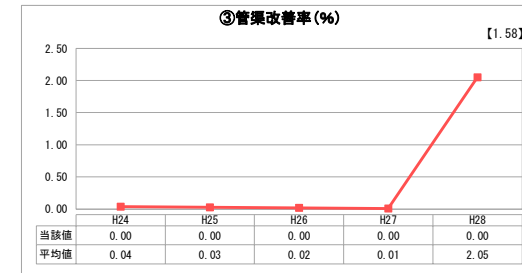
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析概

### 1. 経営の健全性・効率性について

債務残高は平成28年度において一般会計負担額を除き0であること、汚水処理原価は類似団体平均よりも低いこと、料金水準、施設利用率、水洗化率が類似団体平均よりも高いことなどから経営の健全性は評価できるが、経費回収率が100%を下回っており、単年度収支は赤字、経費もすべてが回収できていないことがわかる。これらの背景には、まとまった地区で整備を短期間で行ったことなどから、施設効率等が高くなっていることが考えられる。今後は、単年度収支の赤字の解消、経費回収率のさらなる改善を目指し、料金水準のさらなる適正化を図り経営の健全化を図っていく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

管渠改善は供用開始からの期間が比較的短いこともあり、管渠の老朽化はまだ顕著となっていないが、今後は老朽化による修繕や更新が必要となるため、施設の計画的な修繕や更新を実施していきます。

### 全体総括

経営の健全性、効率性については類似団体よりも高く効率的な施設整備・運営が図られていると評価できる。管渠施設についてはこれまでは改築等が必要とされてこなかったが、今後経年変化とともに老朽化していくことが懸念されるため、修繕や改築費用の確保のためにも、今後の更なる経営健全化に向けた取り組みが必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。